

## 人事院会議議事録

### 会議日

令和3年7月8日 木曜日

### 会議の出席者

川本総裁 立花人事官 古屋人事官  
(幹事) 松尾事務総長、柴崎総括審議官  
(説明員) (職員福祉局)  
合田局長、練合次長  
役田職員福祉課長、藤原補償課長  
仲田企画官、大澤健康安全対策推進室長  
好岡職員団体審議官、増尾職員団体審議官付参事官

### 議題

本年の勧告時に打ち出す職員福祉局関係の施策

### 議事の概要

- 議題「本年の勧告時に打ち出す職員福祉局関係の施策」について、担当局から説明があった。
- これに対し、以下のような意見があった。
  - ・ 出産・育児と仕事の両立支援のための各施策については、公務先行で民間を引っ張っていくような主体的で良い取組である。
  - ・ 長時間労働の是正については、既に行っている取組だけでなく、更に効果が上がるような新たな取組についても検討できないか。また、人事院として取り組んでいる内容を対外的にアピールすることが必要。
  - ・ 定員の確保や国会の理解の増進についても、関係者に伝わりやすく、分かりやすいものとする工夫が必要ではないか。
  - ・ テレワーク等の柔軟な働き方に対応した勤務時間制度に関する研究については、研究会を開催するなど、国民に見える化した取組が必要ではないか。
  - ・ 不妊治療休暇や育児休業制度の改正等について、非常勤職員を含む職員への制度周知に取り組むことにより、実際に休暇等が取れるようにする必要がある。また、職場全体での仕事の回し方や休暇等で不在となった者のカバーの仕方などの人事管理をしっかりと行っていくことも重要である。
- 以上の結果、出産・育児と仕事の両立支援関係について担当局の方針のとおり進めるとともに、今後、担当局において、本日頂いた御意見を踏まえ、具体的な取組を記載した報告文案等を作成することとされた。